



新時代をつくる

チャレンジを!!

半田市議会議員
こいで よしかず **義**の
市政あれこれ
54



発行日：2022年4月20日
 発行所：愛知県半田市瑞穂町5-3-18

赤レンガ建物はカブトビールの工場です…

半田赤レンガ建物は、明治31年から昭和18年まで、東海地方で販売シェアを占めていたカブトビールの工場でした。今年3月、赤レンガ建物広場に広告塔が復元され、その歴史を伝えていきます。

カブトビールの前身「丸三ビール」は、ミツカン四代目中笠又左衛門氏、後の敷島製パン創業



100年先、200年先を

見越した社会基盤の

整備を!

先人には多くのものを遺して頂きました。半田には地方都市から一流ブランドを目指し、大手ビールメーカーに挑んだチャレンジの歴史があります。先人が時代を切り開いた様に、時代に合った社会基盤を遺すことが必要です。

100年先には超のつく高齢化・少子化・核家族化の時代を迎えます。消防・し尿処理・ごみ処理などの、自治体に共通している行政サービスの広域化により合理化をめざすのも手法のひとつです。逆に特定のサービスを手厚く受け易い地域をつくる手法も検討の余地があると思います。

これからの時代に必要なのは、皆で知恵を出し合う事と、相互扶助のできる社会づくりだと思います。既存概念や古い常識にとらわれない、100年先を見越し基盤整備を進めたいと思います。

者森田善平氏により、明治22年に創業されました。同年に東海道線が開通し、翌々に東北線は仙台まで、山陽線は尾道まで開通しました。「キリン」「アサヒ」「サッポロ」「惠比寿」などのビール会社も、同じ時期に設立されています。

鉄道輸送が始まり、日本中にビールが広まった時代に、東海地方では半田の「カブトビール」が大健闘していました。「カブトビール」は、明治31年パリ万博で、「アサヒ」「惠比寿」とともに金牌を受賞し品質も評価されています。先人のチャレンジ精神を感じるためにも、半田赤レンガ建物をお訪ね下さい。

地産地消で美味しい学校給食を!!



新学校給食センターのイメージ

新学校給食センターは、令和7年秋開業を目標に、十一号地に建設されます。新センターは、規格外野菜の調理を可能とする設備の導入や献立の年間計画を立てるなど、地元野菜を利用する準備を進めています。美味しい給食へ一歩前進です。半田市は、豚肉・牛肉・牛乳の県下有数の生産地です。現在は仕入れ価格の都合で利用が少ないですが、地元の美味しい食材を積極的に活用するよう工夫をお願いしたいと思います。

企業を交え

渋滞対策会議がスタート!!

道路拡幅や右折レーンの設置などの施設整備、通勤手段の検討や操業時間の調整などが対策内容となりますが、解決に向けて前向きな議論を期待します。

臨海部の工業地帯は、南北に延びる一本の港湾道路を通過して多くの方が通勤し、貨物車もここを利用します。朝夕は、深刻な渋滞に悩まされています。この渋滞の解消のために、関係企業や港湾道路管理部に半田市が参加する構成で、対策会議が本年3月にスタートしました。



深刻な朝夕の渋滞

休日・延長保育の実施に向けて



仕事と子育ての両立のためには、様々な保育ニーズに 대응していく必要があります。休日保育や延長保育の実施もそのひとつです。半田市では、令和5年から保育園保育が民営化されるのに伴い、休日保育と延長保育の実施に向けた準備を進めています。当面は一園のみの対応とこのことです。利用者の利便性を高めるため、地域を分けた複数園での実施や送迎ステーションの設置などをお願いしてまいります。

ホームページは **Koide-handa.com**

でご覧ください



<https://koide-handa.com/> <https://koida-handa.com/>